

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、あんま圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和2年8月4日（火）13時30分から15時まで
参加者	委員：15人 事務局：1人 その他：9人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：2人、包括支援センターあんま：2人、浜松市社協：3人）
場所	東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室
内容	<p>1 議事 以下2点について協議が行われ、承認された。</p> <p>(1) 委員について 中ノ町地区、和田地区、蒲地区よりそれぞれ6名の委員が選出され、承認された。任期については令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間となる。</p> <p>(2) 会長・副会長の選出 委員からの推薦により、会長を中ノ町地区から1名、副会長を和田地区と蒲地区から1名ずつ選出され、承認された。</p> <p>2 関係機関より</p> <p>(1) 協議体について 協議体について高齢者福祉課より説明。</p> <p>(2) 生活支援コーディネーター連絡会について 5月14日に開催された生活支援コーディネーター連絡会について、各区での取り組み状況などを事務局より報告。</p> <p>3 昨年度の振り返り 事務局より昨年度の協議体の開催日時、協議内容、決定事項等について報告。 [報告内容] ・昨年度は協議体会議を年4回（6/20、9/24、12/3、2/25）開催。 ・地区ごとに取り組む内容を検討し、蒲地区では事業の継続と担い手の育成、和田地区と中ノ町地区では買い物支援（地域法人との連携も検討）についての話し合いを行った。</p> <p>4 今年度の進め方 協議体会議の開催回数と開催時期について協議を行い、下記のとおりで決定した。 [決定内容] 開催回数は年3回、今後の開催時期は11月、2月の予定となった。</p> <p>5 グループワーク 地区ごとに分かれて進捗状況の確認と、新たな課題がないかなどを協議。</p> <p>6 各地区からの報告 前回から今回の会議までの進捗状況と地区ごとに話し合った内容について報告。</p> <p>中ノ町地区 ・買い物支援については地域法人との協力を考えていたが、コロナの影響で法人同士の話し合いが持っていないことから、進んでいない。</p>

	<p>・行政からタクシー券についての説明を受けたが、復活は難しいとの回答であった。</p> <p>蒲地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事支援活動は続いているが、担い手に関しては不足している状況が続いている。社協だより等で広報を行なっても、年に1~2件問い合わせがくる程。 ・コロナで自粛生活となり、思うように関わりが持てなくなっている。 ・行事も中止で安否確認ができていない。 ・民生委員はコロナの感染予防のため個別訪問を控えており、安否確認が取りづらくなり、手紙をポストイングするなどして安否確認を行なっている。 <p>和田地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援については、地区によってニーズの違いがあるように感じる。 ・買い物ツアーについては地域の法人の協力をもう少し検討したい。 ・行商等の活用も出来ないか。 ・ニーズ調査のため、アンケートをとっていくのもいいのではないか。 <p>7 その他</p> <p>(1) バス・タクシー券について 高齢者福祉課よりバス・タクシー券について説明。 [説明内容] ・以前は70歳以上の方にバス・タクシー券を支給していたが、介護予防に力を入れていこうと方向転換されたため廃止。平成27年に高齢者への支給が無なくなっている。現時点で復活という話はない。 ⇒実施時の状況や代替案などについて意見があり、次回の協議体会議にて行政より回答をいただくこととなった。</p> <p>(2) その他 東区内他圏域で検討中の買い物・通院支援について市社協より報告。</p>
今後の見通し等	今年度第2回協議体会議は令和2年11月25日(水)13時30分~東部保健福祉センター健康教育室・集団指導室にて開催する。